

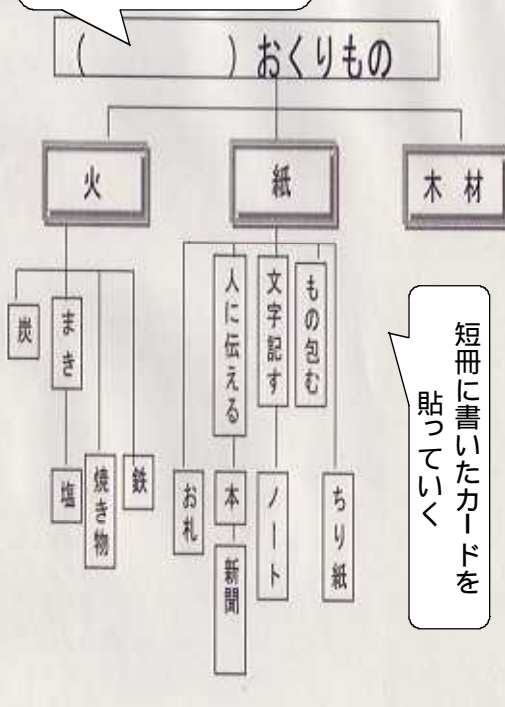
森林のおくりもの 富山和子
学習課題

SO S! 地球の緑を守れ!
筆者の工夫を取り入れながら、
調べたことを意見文にまとめよう

めあて

二つ目三つ目の「森林のおくりもの」を読み取り、
筆者の述べ方の工夫をさぐる

7 / 15 時間目の学習で
どんなおくりものか
考えさせる



《工夫》

具体例を挙げて説明

かけがえのない働き

生活に欠かせない働き

読み手を引きつける問いかけ

思い浮かべてみてください

考えてみたことがありますか

5 / 15 時間目 指導略案 ワークシート
活動のねらい

二つ目三つ目の「森林のおくりもの」を読み取り、
筆者の述べ方の工夫を見つけることができるようにする。

1 本時のめあてを確認する。

2 形式段落 (20 ~ 25) を読み、「紙」「火」のおくりものについてまとめる。

本時のめあてを意識しながら、本文を読む。

「おくりもの」を付せんに書き出し、ワークシートに構成を工夫してはり出す。

(発問)「紙」や「火」としてのおくりものを付せんに書き出し、「目的」と「使われ方」に分けて整理しましょう。

考えをペアで対話する。

全体で確認しながら、ワークシートに整理する。

3 筆者の述べ方の工夫について気付いたことを話し合う。

(発問)二つ目のおくりものことを読み手に伝えるために、筆者はどんな述べ方の工夫をしているだろう。

- 事例の多さが筆者の述べ方の工夫の一つである。
- 問い掛けの言葉を工夫し、読み手にも考えさせている。

【評価】 叙述をもとに事例を整理したり、友達と考えを交換しながら
筆者の主張や表現の工夫について読み取っている

4 学習を振り返り、めあてについて自己評価する。